



平野 勝澄 議員

6人が登壇

■今年度、福祉灯油実施の考えは

■対象拡大や恒常施策化してはどうか

町長

□360世帯対象に補正予算を組んだ

□対象は昨年同様、恒常化でなくその都度検討すべき

議員 灯油価格が昨年より上昇している。冬季の需要増大による更なる価格上昇や様々な物価上昇、年金の引き下げ等、低所得の高齢者、障がい者、母子世帯などのくらしがおよびやかされる。昨年の福祉灯油実施は大いに評価できる。今年もぜひ早い時期に、福祉灯油券配布の実施を決断し、町民の安心をもたらすとともに、全県の豪雪地域への波及の先頭を切り、県や国に対して

も決断を求めていくべきと考えるが、町長の考えは。

町長 本定例会に町独自事業として補正予算を計上している。対象世帯は昨年度と同様の町民税非課税世帯のうち、生活保護世帯や長期入院・施設入所者等を除く65歳以上高齢者のみ世帯、高齢者と障がい者のみ世帯、ひとり親世帯とし、灯油購入助成額は12月以降の4か月を対象期間として、1,000円分助



高騰しつづける灯油

成券を6枚、6,000円分を交付する。およそ360世帯が交付対象となる見込みである。

議員 所得要件を他の福祉施策なみに緩和したり、くらしの実態が対象世帯に近い方々にまで広げることができないか。

町長 低所得世帯に対する緊急的経済支援であり、「所得要件の変更」は行わない。また、相互扶助可能と判断される世帯は対象外である。

議員 年度ごとの特別の施策ではなく、一般の恒常的な福祉施策とし、来年度以降の予算

に盛り込むことはできないか。

町長 灯油価格の動向は予測が困難である。国の福祉制度の変更も検討されており、その都度判断すべきと考える。

議員 県が補助を決めた場合、対象世帯への交付額増額など拡充は考えているか。

町長 県の要綱が変更されれば検討する。

代にPRをする。

9月から月2回ほどの出演依頼があり、今後町内のみならず、県外イベントにも出演させ認知度アップに努めたい。

■目指す町の将来像実現のために

— 第5次真室川町総合計画実施の見直しを —

町長

□産業振興条例を改正、88橋を10年で修繕する



大友 又治 議員

議員 「いきいきと働き個性を創るまちづくり」について、若者や障がい者の就業支援策は。

町長 今年度から産業振興条例を改正し、企業が土地取得・造成する場合の補助率を5%から30%へ拡充、操業奨励金の雇用奨励金も継続し、若者の雇用の場の確保に努める。

障がい者の雇用は、法的雇用の義務のない事業所を含め、理解を深める機会を設け、支援の必要性とあり方について



改修が待たれる田代橋

て検討したい。

議員 「健康と福祉のまちづくり」について、老人福祉と障がい者福祉のさらなる充実。

町長 国・県の福祉施策や支援制度に基づく事業に加え、関係機関との連携による障がい者雇用率向上への支援、除雪支援事業や福祉燃

議員 「快適で安心で生きるまちづくり」について、橋梁長寿命化計画の進捗状況は。

町長 町管理橋梁112橋のうち補修の必要な88橋を10カ年で計画的に修繕する。田代橋は平成28年度中の供用開始を予定している。

議員 「ひと・もの・こころが交流するまちづくり」について、「うめ子ちゃん」の効果と今後の活用は。

町長 各種イベントに参加することで、子供たちをはじめ幅広い世

他の質問

- 「心豊かな人と文化を育むまちづくり」について
- 「健全財政のまちづくり」について